# 青年海外協力隊は何をもたらしたか

~開発協力とグローバル人材育成 50年の成果~



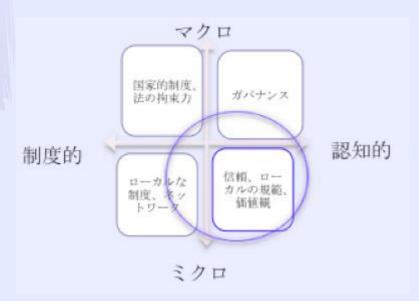
2018.6.25. JICA研究所 発刊セミナー

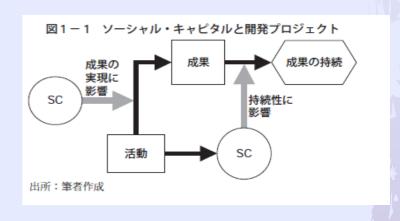


(第5章著者)JICA東京 上田 直子

2013.4~2016.3 協力隊事務局 アジア大洋州課長 2016.6~2018.6 バングラデシュ派遣専門家 ueda.naoko@jica.go.jp 第5章:「心」にはたらきかけた隊員たち ~バングラデシュの予防接種、 ホンジュラスのシャーガス病対策から考える~

隊員に関わるソーシャル・キャピタル (SC:社会関係資本) =人々の信頼や規範、つながりなど、、、を 「感情」の観点から考えてみました。





# バングラデシュ:予防接種とポリオ対策

隊員活動の成果:予防接種の面的拡大&質的向上への貢献

→ポリオ・フリー

### 隊員が変えたものは…?

√ネットワークの構築<br/>

√バングラデシュ人同僚に対する、<mark>規範</mark>の提示

photo:WHO

√バングラデシュ人同僚の、

意欲の向上

√地域住民の、予防接種(を届ける人々への)**信頼の醸成** 

### ホンジュラス:シャーガス病対策

### シャーガス病とは?

- ✓ 中南米の寄生虫症
- ✓ 約8割は媒介虫"サシガメ"が媒介





# シャーガス病対策

- ✓サシガメの住居内生息率の減少
- ✓サシガメ殺虫と再発生防止



### →隊員活動の成果:

住民参加型 サシガメ再発生監視体制の構築

# 「心」とソーシャル・キャピタル

- ✓ 隊員が対策の現場に同伴、行政/住民双方への働きかけによって、行政-住民の間の応答性が確立
- ✓ その基盤となる、人々の感情(自信、名誉、喜びと嬉しさ、達成と満足感 etc.)→内発的動機の継続

→SC変容へ



# 隊員は何をもたらしたのか?

#### 活動の内容:

- ✓ 地域の人々に寄り添った感染症対策
- ✓ 保健行政の日常の仕事の品質・精度向上

#### これによって隊員が変えてきたこと:

- 感染症対策に関わる社会の仕組みと機能 ネットワーク、行政と住民の接触面
- ✓ 行政の人々、地域の人々の「心」 感情、規範、信頼、動機、意欲…



photo:R.Tanaka

# 開発協力における成果→例)感染症対策への貢献

ある種の「まとまり」としての評価:外部からの視点

- **✓**□ ポリオ・フリー、シャーガス感染中断 (部分的) (WHO)
- ✓□ 2016年夏、マグサイサイ賞を受賞

# 隊員は何をもたらしたのか?

#### 人材育成における成果→隊員自身の感情と動機にも注目

- 活動中隊員自身の感情の変化が、活動の動機継続に影響
- →落胆、怒り、挫折 etc. の現場でのネガティブ感情が、価値観の変化、再度の協力隊参加につながった例 事後の支援
  - ※JICA研究所Working Paper (2018年3月)

"The Hearts, Minds, and Sentiments: The Volunteers Program in the Immunization Program in Bangladesh and the Chagas Diseases Control Project of Honduras"

https://www.jica.go.jp/jica-ri/ja/publication/workingpaper/l75nbg00000mrin4-att/JICA-RI WP No.162.pdf

- ・「弱い専門性」の強さ
- ✓□ 医療知識がない感染症隊員の腕の見せ所→コミュカ、もりあげ力、その気にさせる力、などの「人間力」が試される
  - ✓□ 「めげない力」「課題解決力」、6つのCompetency

### では、活動終了後は?

# これからの10年へ… いくつかのKey words

- ・「弱い専門性の強さ」
- ・支援のあり方:「事後の支援」
- ・成果分析の枠組み
  - 終章 "有識者懇談会提案の施策(2016年3月)とその評価"
    - ・人材確保の多様化と柔軟な派遣形態
    - ・支援の強化(技術補完研修の充実、在外事務所強化)
    - ・帰国隊員の活躍機会、他国ボランティアとの共同等